



薬剤部 平成30年3月12日発行

医薬品の採用・中止・変更について —平成30年3月8日薬事委員会結果報告—

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ゴナールエフ皮下注用 75(ホリトロピンアルファ)	卵胞刺激ホルモン(FSH)製剤
ネスブ注射用 180μg プラシリンジ(ダルベポエチンアルファ)	持続型赤血球造血刺激因子製剤

⇒ 平成30年3月20日より処方開始の予定です。

②院内製剤変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名(成分名)	薬品分類
オキシコンチン錠 5mg ⇒ オキシコンチン TR 錠 5mg(オキシコドン塩酸塩水和物)	持続性癌疼痛治療剤
オキシコンチン錠 10mg ⇒ オキシコンチン TR 錠 10mg(オキシコドン塩酸塩水和物)	持続性癌疼痛治療剤
オキシコンチン錠 40mg ⇒ オキシコンチン TR 錠 40mg(オキシコドン塩酸塩水和物)	持続性癌疼痛治療剤
テモダールカプセル 20mg ⇒ テモゾロミド錠 20mg「NK」(テモゾロミド)	抗悪性腫瘍剤
テモダールカプセル 100mg ⇒ テモゾロミド錠 100mg「NK」(テモゾロミド)	抗悪性腫瘍剤
ノイアート静注用 1500 単位 ⇒ 献血ノンスロン 1500 注射用(人アンチトロンビンⅢ)	血液凝固阻止剤
リツキサン注 100mg/10mL ⇒ リツキシマブ BS 点滴静注 100mg「KHK」(リツキシマブ)	抗悪性腫瘍剤
リツキサン注 500mg/50mL ⇒ リツキシマブ BS 点滴静注 500mg「KHK」(リツキシマブ)	抗悪性腫瘍剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

③院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ネクサバール錠 200mg(ソラフェニブトシル酸塩)	抗悪性腫瘍剤
エボジン注シリンジ 1500(エポエチンベータ)	赤血球造血刺激因子製剤
プリンク注 5μg(アルプロスタジル)	プロスタグランジン E ₁ 製剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

④院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ヴィキラックス配合錠(オムビタスビル水和物、パリタプレビル水和物、リナビル)	C 型肝炎治療剤
サラゾピリン坐剤 500mg(サラゾスルファピリジン)	潰瘍性大腸炎治療剤
リオバル配合錠 LD(アログリプチン安息香酸塩、ピオグリタゾン塩酸塩)	選択的DPP-4 阻害薬/チアゾリジン系薬配合剤
ブリジスタナイーブ錠 800mg(ダルナビルエタノール付加物)	HIV 感染症治療剤
レキシヴァ錠 700mg(ホスアンプレナビルカルシウム水和物)	HIV 感染症治療剤
レミカットカプセル 2mg(エメダスチンフマル酸塩)	抗アレルギー剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止としますが、最終を平成 30 年 6 月 30 日とします。

⑤販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外) : 院外専用医薬品	薬品分類
テオロング顆粒 50%(テオフィリン) ^(外)		気管支喘息治療剤
フェナゾックスカプセル 50mg(アンフェナクナトリウム) ^(外)		鎮痛・抗炎症剤

⇒ 在庫がなくなり次第、処方中止とします。

⑥販売中止に伴う剤型変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名	薬品分類
エルカルチン FF 静注 1000mg ⇒ エルカルチン FF 静注 1000mg シリンジ	レボカルニチン製剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

【院内新規試用医薬品】

(ホリトロピンアルファ)

▶ゴナールエフ皮下注用 75

Gonalef 75IU/V [メルクセローノ]

〔薬価〕3,806 円/瓶

〔貯法〕遮光

【効】①視床下部一下垂体機能障害又は多嚢胞性卵巣症候群に伴う無排卵及び希発排卵における排卵誘発
②低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症における精子形成の誘導

【用】(注)①1 回 75IU を連日皮下投与する。卵胞の発育の程度を観察しながら適宜用量を調節し、主席卵胞の十分な発育が確認された後、hCG 製剤を投与し排卵を誘起する。 ②hCG 製剤と併用投与する。血中テストステロン値が正常範囲内にあること及び無精子であることを確認した後に、1 回 150IU を1 週 3 回皮下投与する。精子形成の誘導が認められない場合には、1 回に最大 300IU、1 週 3 回を限度として適宜増量する。

(ダルベポエチンアルファ)

▶ネスブ注射用 180μg プラシリンジ ⑧

Nesp 180μg/0.5mL/シリンジ [協和キリン]

〔薬価〕28,140 円/筒

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】①腎性貧血 ②骨髄異形成症候群に伴う貧血

【用】(注) 医薬品集および JUS D.I.参照

【院内製剤変更医薬品】

(オキシコドン塩酸塩水和物)

▶オキシコンチン TR 錠 5mg

⑧⑨

Oxycontin 5mg/錠

〔塩野義〕

〔薬価〕139.6 円/錠

▶オキシコンチン TR 錠 10mg

⑧⑨

Oxycontin 10mg/錠

〔薬価〕261.3 円/錠

▶オキシコンチン TR 錠 40mg

⑧⑨

Oxycontin 40mg/錠

〔薬価〕891.4 円/錠

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】(内) 1 日 10～80mg を 2 回に分割投与する。

(テモゾロミド)

▶テモゾロミド錠 20mg 「NK」

⑨後

Temozolomide 20mg/錠

〔日本化薬〕

〔薬価〕1,398.5 円/錠

▶テモゾロミド錠 100mg 「NK」

⑨後

Temozolomide 100mg/錠

〔薬価〕6,992.3 円/錠

【効】悪性神経膠腫

【用】(内) 初発：放射線照射との併用にて、1 回 75mg/m² を 1 日 1 回連日 42 日間投与し、4 週間休薬する。その後、単独にて、1 回 150mg/m² を 1 日 1 回連日 5 日間投与し、23 日間休薬する。28 日を 1 クールとし、次クールで 1 回 200mg/m² に増量することができる。再発：1 回 150mg/m² を 1 日 1 回連日 5 日間投与し、23 日間休薬する。28 日を 1 クールとし、次クールで 1 回 200mg/m² に増量することができる。

(人アンチトロンビンⅢ)

▶献血ノンスロン 1500 注射用

Kenketu nonthron 1500 国際単位/V [武田]

〔薬価〕65,433 円/瓶

【効】①先天性アンチトロンビンⅢ欠乏に基づく血栓形成傾向 ②アンチトロンビンⅢ低下を伴う汎発性血管内凝固症候群 (DIC) ③アンチトロンビンⅢ低下を伴う門脈血栓症

【用】(注)①1 日 1,000～3,000 国際単位を投与する。

②アンチトロンビンⅢが正常の 70%以下に低下した場合、ヘパリンの持続点滴静注のもとに、1 日 1,500

国際単位を投与する。産科的、外科的 DIC などの緊急処置の場合、1 日 1 回 40～60 国際単位/kg を投与する。③アンチトロンビンⅢが正常の 70%以下に低下した場合、1 日 1,500 国際単位を 5 日間投与する。投与により血栓縮小傾向が認められた場合、1 日 1,500 国際単位の 5 日間投与を最大 2 回まで追加で行うことができる。

(リツキシマブ)

▶リツキシマブ BS 点滴静注 100mg「KHK」 ⑥

Rituximab BS 100mg/10mL/V [協和キリン]

〔薬価〕24,930 円/瓶

▶リツキシマブ BS 点滴静注 500mg「KHK」 ⑥

Rituximab BS 500mg/50mL/V

〔薬価〕122,143 円/瓶

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】①CD20 陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫

②免疫抑制状態下の CD20 陽性の B 細胞性リンパ増殖性疾患

③ヴェグナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎

【用】(注)①1 回 $375\text{mg}/\text{m}^2$ を 1 週間間隔で点滴静注する。

最大投与回数は 8 回とする。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、1 サイクルあたり 1 回投与する。

維持療法の場合、投与間隔は 8 週間を目安とし、最大投与回数は 12 回とする。

②1 回 $375\text{mg}/\text{m}^2$ を 1 週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は 8 回とする。

③1 回 $375\text{mg}/\text{m}^2$ を 1 週間間隔で 4 回点滴静注する。

【販売中止に伴う剤形変更医薬品】

(レボカルニチン)

▶エルカルチン FF 静注 1000mg シリンジ

L-Cartin FF 1000mg/5mL/シリンジ [大塚]

〔薬価〕1,035 円/筒

【効】カルニチン欠乏症

【用】(注)1 回 $50\text{mg}/\text{kg}$ を 3～6 時間ごとに、緩徐に静注又は点滴静注する。1 日の最大投与量は $300\text{mg}/\text{kg}$ とする。血液透析に伴うカルニチン欠乏症に対しては、10～20 mg/kg を透析終了時に、透析回路静脈側に注入する。